

感染状況・医療提供体制の分析(2月23日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (2月16日時点)	現在の数値 (2月23日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	5380人 (286.6人)	4182人 (222.8人)	→	総括 コメント	レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	920人 (17%)	648人 (15%)	→		
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	3034人	2426人	→		新規陽性者 <u>人口10万人当たり223人</u> と減少傾向だが、立ち上がりには比べ減少は緩やか。また、医療機関や介護福祉施設等高齢者が集まる場所でのクラスター発生は続く。 感染者数の減少傾向は見られるが、当面は医療提供体制のひっ迫は続く。重点措置区域の適用が解除され、陽性者の増加に転じた県もある。今後、年度末で人流が増す時期までに、感染を更に抑え込むことが必要。
		県南西部	1884人	1365人	→		
		高梁・新見	66人	50人	→		
		真庭	21人	64人	→		
		津山・英田	370人	273人	→		
	市中潜在 ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	1177人 (調査中を除く)	1004人 (調査中を除く)	→		
		割合 (③/①)	36.8% (調査中を除く)	36.6% (調査中を除く)	→		
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		306人 (55%)	272人 (49%)	→	総括 コメント	レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる
	⑤宿泊療養者数		137人	147人	→		
	⑥自宅療養者数		5316人	4469人	→		入院患者数微減するも、新規陽性者数の減少に比べると緩徐。救急搬送困難事案や医療従事者の欠勤など通常医療に対して大きな負荷がかかっている。
	⑦重症者数		14人	12人	→		